

2019.01.07 理学療法学科

【国際交流】 ドイツ・Fresenius 大学生来日研修

2019年2月12日から22日までの11日間、ドイツ・フレセニウス大学理学療法学科の学生12名が本学科に短期研修で訪れました。

本学とフレセニウス大学は、2012年から理学療法学科学生の相互派遣研修を行っており、今回が7回目の来日研修となりました。昨年9月に訪独した際に交流のあった学生が来日するとのことで、訪独した3年生メンバーを中心に受け入れを行いました。

本研修では、医療や理学療法に関する研修に加え、互いの国民性や文化的背景の理解を深めあうことで国際的な視点を持って活躍できる理学療法士を育成することを目的としています。そのため全日程を学生宅でのホームステイでおもてなしました。

今回の研修は Motion Analysis（動作解析）をテーマに授業、施設見学、グループワークに取り組みました。研修の中ではドイツ人学生の箸を使った食事動作の動作分析を体験してみる、様々な歩行で歩行パラメータを比較してみるなど、楽しみながら学びを深めることができたのではないかと思います。

（写真：左上；歩行測定シートでの測定体験，右上；グループワーク発表の様子，左下；食事動作の測定，右下；病院での足型計測体験）





日本学生とドイツ学生混成で行ったグループワークでは、互いに母国語ではない英語でのコミュニケーションと格闘しながら、それでも投げ出すことなく集中して取り組む様子が印象的でした。英語でまとめたポスターでのプレゼンテーションは、細かく現象を捉える日本人学生とそれが起こる原因・理由を深く考えるドイツ人学生の良い所が詰まったものとなりました。

(写真：左；文化体験の様子，右；集合写真)



来年度以降も本研修での交流は継続する予定であり、高崎健康福祉大学とフレゼニウス大学は今後も交流を発展させていきます。

◎ 本研修は、日本学生支援機構の留学生支援制度（短期受け入れ）に採択され、奨学金を得て実施されました。